

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.33 2011 4/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

ワールド
中之島
サテライト



ナカノシマ大学

釈 徹宗×高島幸次
「大阪の神さん、仏さん」
〈神さん編〉その2
申し込み受付中!



n Nakanoshima



ワールドサテライト in 中之島

幕末の開港でできた旧川口居留地。
かつて各国領事館が集まった旧ダイビル。
中之島界限は早くから異文化流入の玄関だった。
歩いてみればこんなにあつた、世界への入口。



和気あいのレッスン。ソ
ロを踊れば全員で拍手。初め
ての人には「フリースタイ
ル / (自由に)」と声がかかる。

Turkey トルコ文化協会

トルコへの窓は ベリーダンスが開く。

トルコに関する日本人の知識といえ
ば、「年配の人はオスマン帝国、若者
なら2002年のサッカーW杯ぐらい。
世界三大料理といわれるトルコ料理も
知られてませぬねえ」というのが、来
日24年になるトプラマオール・A・キ
ヤミルさんの実感。京大の大学院を
出た後、トルコ語を教えつつ、「京都
府名誉友好大使」として自国文化をあ
ちこちで紹介してきたが、6年前に協
会を立ち上げ、天満橋に事務所を構え
た頃から、じわり追い風が吹き始めた
ベリーダンスの人気である。

「楽しみながらエクササイズやダイ
エツトができると、口コミで広がって
ます」。講師は、トルコの国立大学で
民俗舞踊を学び、世界各国で公演して
きたハンタン・ギュンギョルさんをは
じめ、プロのダンサーたち。3月には
広いスタジオを備えた新しい協会事務
所に引っ越し、入門編から上級者向け
まで、ほぼ毎日レッスンをしている。
ダンスは女性限定だが、民俗楽器の
サズ(弦楽器)やダルブカ(打楽器)
の講座は男性が中心。キツチンスペー
スでは料理教室も開く予定だ。さら
には、オヤと呼ばれるトルコ刺繍にア
ラビア書道。キヤミルさんが教えるト
ルコ語教室も、もちろんある。
「トルコは一度行けば必ず二度目も

トルコ文化協会

3月の事務所移転を機に「関
西日本トルコ協会」から現名
称に。ベリーダンスは入門から
上級まで4クラス。ヨガに似
たエクササイズ「ピラティス」
もある。受講料は1回60分
で2,000円から(チケット制)
。ダンス用アクセサリーや雑
貨の販売も行っている。
☎06-6358-1201 無休



京大大学院では国際政治を研究していたキヤミルさん(右)。阪大でトルコ語を教えるアボさんは民俗楽器奏者でもある。トルコの毛織物キリムをはじめ、雑貨もどんどん充実させていく予定。

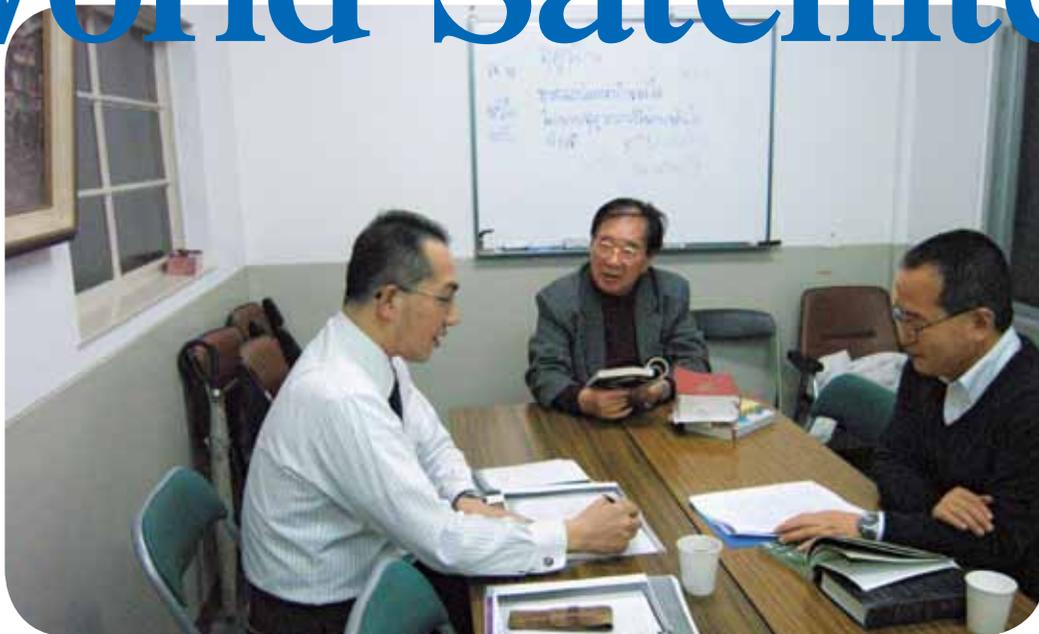
ダルブカ講座は輪になり、ま
ったりとリラックスムード。



取材文/松本創(本誌)
行きたくなる国。対日感情がとて
いし、何より人が優しい。自分の国を
褒めるのはちょっと照れ臭いけど”
トルコ文化を日本へ紹介する一方通行
ではなく、二つの国を人びとが行き来
するのが、キヤミルさんの夢だ。



World Satellite i



輪読会は、金子さん（中央）が時折アドバイスしながら進む。後ろにはタイ文字。「書くのはさらに難しい」とか。

Thailand 日本タイクラブ

筋金入りファン集う、 現代の「タイ語版塾」。

「タイは私をなぜ虜にしたのか？」。西天満にある「日本タイクラブ」が2月に開いた20周年フォーラムのタイトルだ。そういう問いが立つほどタイ好きの人はとことんハマる。「身内でもないのに、なんでそんなに？」と思うほど人が優しい。そんな人懐こさに参ってしまった日本人が多いですね」とは、ここでタイ語を教える弓庭育子さん。

タイ語研究の第一人者である赤木攻・元大阪外語大学学長が「タイの魅力を語り合う場を」と呼びかけて発足したクラブには、企業の駐在員として滞在経験のある人、タイ料理好き、仏教マニアまで150人の会員がいる。人口は何でもいい。タイが好きならOKの「ナムチャイ・ノンピー（人間愛）」精神だが、国に惹かれれば言葉覚えなくなるのが人情。なかでも難易度の高いタイ文字に挑む人は筋金入りだ。

原書講読の講座をのぞいてみた。講師の金子義久さんは大阪外大のタイ語学科を卒業後、商社マンとして通算30年タイで勤務。いまも年に数回タイへ行き、本を買ひ込む。この日のテキストは山の旅行記。「ビジネスや公文書は読めても、文学やエッセイとなれば出てくる単語や表現も違うので、僕もたびたび辞書を引きますよ」。

受講生は一文読んで訳し、訳して

原書講読のテキストは「タイのある程度教養のある人が読むレベル」だそう。

はまた読み：。「そこはこうやない？」「難しいなあ」と話し合いつつ進む輪読会を見ていると、その昔、ここからほど近い塾で繰り広げられた蘭学生の会話はこんなふうだったかもなあ、と想像してしまふのだった。

取材文／松本創（本誌）



ビルのある老松通は天神祭の陸渡御のコース。京阪神からタイ人留学生たちを集め、浴衣姿でお茶の接待をする。



日本タイクラブ

レベル別のタイ語会話、初心者向け文字クラス、原書講読などが日替わりで。会員（年会費は一般12,000円、学生5,000円）は受講料割引がある。日タイ交流茶話会、会報の送付やバンコクからのメール情報、天神祭には留学生を招いた交流会なども。☎06-6364-0878 水・日祝休

Italy

イタリア文化会館 大阪

料理だけじゃない、イタリアへの入口いっぱい。

「映画を観ている時にセリフがわかるようになってきたのが嬉しい！」。そう話してくれたのは、語学講座に通う日本人女性。ここイタリア文化会館では、ほぼ毎日イタリア語の講座が行われている。マンツーマンでビジネスに対応したレッスンから、少数制でわきあいあいと学ぶものまで様々。「どんな美味しいもの食べた？」そんな講師からの日常的な質問に、年齢や性別を問わず気軽に楽しめそうだ。



それぞれが発言して進めるレッスン、みんなの充実した雰囲気伝わってくる。

フリースペースには関連イベントのフライヤーが豊富にあります、映画や絵画展などアート関連の情報も収集できる。図書室からピックアップされたDVDや書籍も置いてあり、南イタリアののどかな街が舞台の映画『ぼくは怖くない』やおなじみの『ピノキオ』など、一度は観たい名作を無料で借りて帰ることができます。「春からはいろいろなイベントを企画してるんですよ！」と

「これもオモシロイですよ！」と、書籍や雑誌の内容はスタッフの方が親切に教えてくれる。フリースペースでは、おぼえた単語を交えながらみんなで楽しくおしゃべり。

イタリア文化会館 大阪

イタリア関連図書の部屋、DVDレンタルも可能。イタリア語コースは土曜日も開講。<http://www.icosaka.esteri.it> ☎06-6229-0066
10:00AM ~ 1:00PM
2:00PM ~ 6:00PM
(月曜・金曜 ~ 6:30PM)
土・日・祝休



取材文／紅粉チヨ

スタッフのミケランジョロさん。4月5日には大阪出身でポローニヤ在住の漫画家・市口桂子さんによるトークイベント「ちよっと不思議なイタリアへ」を開催。最近では『ヴェネツィア・ミステリーガイド』を出版しており、古代ローマの黄金の船やミイラにまつわる恋物語など、あまり知られていない不思議なイタリアのお話が聴ける。さらに昨年初めて大阪でも行われたイタリア映画祭が、今年も5月にABCホールにて開催予定。イタリア映画ファンにとっては待ちに待ったイベントだ。元気に交わすあいさつ、訪れるみんなが笑顔になる陽気なイタリアがここ中之島にある。

インフォメーション

取材・文／松本 創(本誌) 山下敦子

アジアの輪を広げるなら。 アジア協会アジア友の会

発足31年、国際協力の老舗NGOが掲げる旗印は「温くアジアと世界に水を」。アジア18カ国に井戸や水源の森、学校などを贈り、農村やスラムの自立を支援している。江戸堀の事務所ですら毎月行われている名物行事が「ぞうすいの会」。アジア人ゲストと一緒に雑炊を食べ、各国事情を聞く。昼食を質素に抑えた分の差額をみんなで貯めて「贈水」「増水」につなげようというアイデア。283回目を数えた3月はパキスタンとバングラデシュからのゲストとともに菜の花雑炊を食べた。目指すは「EUのようにアジアが一つになるネットワーク」と、夢は大きい。



ぞうすいの会は毎月6日前後の火曜日。参加費500円。毎週金曜日のランチの会(1,000円)、雑貨の販売、各国料理講習会など、多彩な企画はすべてアジアへの理解と援助を目的としている。☎06-6444-0587 10:00AM ~ 7:00PM 日・祝休

アメリカ留学について知りたいなら。 関西アメリカンセンター

米国務省の公式機関としてレファレンス資料室の一部に米国留学に関する図書や資料を揃え、自力で留学準備がしたい人や米国の短大・大学・大学院志望者向けに情報提供を行う。「学位を取得したいが大学の選び方が分からない」「留学したいが情報を収集したい」など、その人の目的に応じた情報の調べ方やインターネットを利用した検索方法などのアドバイスも。不定期ではあるが、アメリカ留学に興味のある学生や保護者らを対象に留学フェアやオリエンテーションを開催。留学情報サイト (<http://connectusa.jp/study/index.html>) で随時告知する。



来館は前日までに予約が必要。ツイッター(http://twitter.com/#!/Kansai_AC)では留学・教育・国際交流など米国についての様々な情報を提供している。☎06-6315-5970 1:00PM ~ 5:00PM 土・日・祝休 <http://osaka.usconsulate.gov/www/jmain.html>

二胡からビジネスまで、 中国文化の総合案内所。

ドアを開けて耳に入ってきたのは、壮麗な二胡の音色。ブースに仕切られた教室の中で、先生と2人の女性が黙々と弓を動かしている。弾き終えたら、次の曲を選んだ先生が少しアドバイスをして、また弾く。お稽古ごとと聞いてすぐ思い浮かぶような、中断ややり直しはない。「8年くらい練習している方ですね。代表の陳連旭さん(左写真)が教えてくれた。

じつに43を数える講座の中でも、二胡は人気コースのひとつだ。中国の古楽器で演奏するグループ、女子十二楽坊で人気に火がつくずっと前から、音色に魅了された人々を迎えてきた。「OLの方が休み時間に来れるように、お昼のレッスンもあります」なんて、オフィス街らしい配慮も。講座のリストを見ると、餃子づくりから「中国進出企業で通用する中国語」といった実践的なもの、「自転車いろいろ」「中国の考古学」など社会的・歴史的な内容まで幅広い。そして、これらの半分を受け持つのが陳さんなのだ。

中国會話館

講師全員がネイティブで、北京語を中心に広東語、韓国語なども習うことができる。すべての講座を無料で体験することができる(要予約)。☎06-6228-0588
10:00AM~10:00PM(土曜~5:00PM) 日曜休



ABC放送「探偵!ナイトスクープ」では、中国語の専門家としてたびたび登場する陳さん。95年に芦屋で被災した経験をもとにドキュメンタリー番組を制作したことから、マルチタレントぶりがうかがえる。

China 中国會話館

陳さんは、中国北部の遼寧省大連市の出身。元々は新石器時代を専門とする考古学者を目指していたが、姉妹都市交流の一環で開いた展覧会で来日したことをきっかけに通訳として活躍するようになり、1995年に中国會話館を開いた。今も現役の法廷通訳員であり、裁判や刑事事件で活躍する。「中国人観光客が増えている大阪で、中国語を学ぶ人が増えていて嬉しい」と語り、12人の講師とともに10校の協力校を行走来する日々を送っている。

取材文 網本武雄(本誌)



二胡教室は毎日開講していて、個人か少人数のグループレッスンを选べる。教えるのは陳さんの実兄である連慶さん。

飛び立つキミへ! 海外情報

国境を越えて語り合うなら。 お互い国交流会HAMIC

関西各地で読書会を主宰する長岡岳志さんと、国際協力を研究する留学生の蔡瑤さん。日中2人の若者が出会い、昨年から天満橋のカフェ [Ultra 2nd] でトークイベントを開始。最近、何かとギクシャクしがちな東アジア関係。日中韓からの参加者が等身大の言葉で価値観や生活事情を語り合い、まずは多様性を認めようという主旨。「政治や宗教などデリケートな話は避けるべきかと思いましたが、どうしても話題に上るし、話してみると意外に理性的に対話できる。ネットと違い、顔を合わせているからでしょうね」とは長岡さんの手ごたえである。



「寿司を手で握るのに驚いた」「北京と上海は東京と大阪の関係か」「中国は縁故社会でしがらみが強い」まで、話題は硬軟自在。毎月1回(土日の午前中)開催で参加無料。次回日程やテーマはブログ <http://ameblo.jp/hamic2011/> でチェックを。

海外ビジネスに関する情報なら。 日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部

海外ビジネスに携わる人をサポートするため、貿易や経済情報を広く提供しているジェトロ大阪本部。経験豊かな専門アドバイザーが「自社製品をアメリカに輸出したいが規制について教えてほしい」「タイに内販目的で拠点を築きたい」などの貿易や投資に関する疑問に対し無料で相談に応じてくれる(要予約)。また、約15万冊を所蔵する国際ビジネスの専門図書館「ビジネスライブラリー大阪」では、世界各国の統計、企業録、貿易・投資制度についての実務書や雑誌など、ビジネスに直結する資料を幅広く取り揃え各種データベースも閲覧できる。



入館・閲覧は無料だがコピーは有料。☎06-6447-2307 (貿易・投資相談予約受付先) / ☎06-6447-2308 (ビジネスライブラリー大阪) 9:00AM~5:00PM 土・日・祝、第3火曜休 <http://www.jetro.go.jp/osaka/>

セルビア共和国
名誉総領事館
@土佐堀通・
大日本除虫菊
☎0664441111



復縁の交渉役となった上山久史専務と、領事館員を兼務する福家綾子さん。

街

を歩いていて、名誉領事館の存在に気づく人は少ない。そういう建物があるわけでも、外国使節が常駐しているわけでもない。多くは日本の企業、時には個人宅がその機能を担う。ビジネス上、関係の深い国から任命され、社長や会長が名誉領事を務める場合がほとんど。

シマの外交官
「名誉領事」というお仕事。

大使館でも領事館でもなく、「名誉領事館」。外務省HPの駐日公館リストによれば大阪府内に32カ所ある。うち3分の1が中之島やその周辺。世界とシマをつなぐ外交官、名誉領事のお仕事とは？

取材文／松本創（本誌）

ユーゴの内戦・分裂もあり、60年以上、「引き裂かれた仲」だった。

それが復縁したのは2003年。ユーゴを継承したセルビア・モンテネグロから突然打診があった。「再び友好関係を発展させたい」と。ベオグラードの公文書館の史料に当社や創業者の名前が残っていたそうです。翌年、現在の上山直英社長が正式に名誉総領事に任命され、モンテネグロが独立したいまま変わらず交流が続く。「政府関係者の来日時に京都や大阪を案内したり、セルビアに関するセミナーや美術展をお手伝いしたり。観光情報も提供してますよ」。この3月には大統領が来日。財界との会合など大阪での日程をしっかりとアテンドした。

発電に飲料水、
タロイモ焼酎計画も

社業に関係なく、社長個人のつながりで引き受けるケースもまれにある。フィジー諸島共和国名誉領事館を置く「伏見印刷」がそう。社長の石橋浩一さんがかつて同国から来た留学生の身元保証人になった縁で、2年前に名誉領事に推薦された。「その留学生は大阪の大学を卒業

フィジー諸島
共和国
名誉領事館
@菅原町・
伏見印刷
☎0663120711



委任状は英語。

1936年（昭和11）、ユーゴの国王から勲章を受けた記念に、在阪のヨーロッパ領事団から贈られた鐘。「上山ユーゴスラヴィア領事閣下」と刻印がある。現在は本社ロビーに展示。



1935年（昭和10）ごろ、ユーゴ政府の関係者が来阪した時の貴重な記念写真。本社兼名誉領事館は、現在より少し西にあった。

除虫菊の縁、60数年ぶりに復活



中ノ島界限だとウズベキスタン、デンマーク、ポーランド、リトアニア、モロッコ、パナマ…。「前は知ってるけど…」ぐらいの小国が多い。大きな国は自前の公館を持っている。そこまで費用や人員を割けない国が信頼できる相手に依頼するのだ。海外から頼られる企業が集まる「名誉あるシマ」のあかしと言えようか。では、どんな所なんだろう。

金鳥蚊取り線香で知られる「大日本除虫菊」内にはセルビア共和国名誉総領事館がある。おそらく日本で最も古い名誉領事館の一つ。その縁は明治の半ば、創業者の上山英一郎氏がアメリカから除虫菊の種子を入手し（仲介したのが福沢諭吉というからすごい）、日本で栽培を始めたことにさかのぼる。

上山氏は効率的な栽培法を考案し、蚊取り線香の開発に成功。日本の除虫菊輸出量は、原産地のユーゴスラヴィア王国（当時）と肩を並べるまでになる。それを機に交流が始まり、1929年（昭和4）、国王アレキサンドル一世から上山氏に「大阪駐在名誉領事」の称号が贈られた。お披露目の会はその3年後、中ノ島の中央公会堂で開かれたという。

「当社はもともと熱帯の国を中心に商品を輸出し、早くから海外展開していた。むしろ戦前の方が国際的企業だったぐらいです（笑）」と上山久史専務。だが、ユーゴとの縁は第二次大戦で途絶えてしまう。戦後は東西冷戦、さらに



後、東京の大使館に勤めています。私を任命した大使は、いま本国内で外務大臣になってますよ。300余の島からなるフィジーは人口約85万人。関西全体では約30人いるという。「のんびりしていて友好的な人たちですね。ミナミにフ



イジー・バーがあつて、10月10日の独立記念日やクリスマスにはみんな集まります。私が顔を出すと、名誉領事ということ、で、えらく歓迎されて（笑）。

観光とサトウキビ、マグロ漁などの国だが、太陽光発電や雨水から飲料水を作るプロジェクトが進み、さらには主食のタロイモで焼酎がでないかという案もあるとか。「どこか日本の酒蔵が協力してくれませんか」。

名誉領事の石橋浩一社長（左）と事務局長の松井茂門さん。観光ガイドやフィジーのミネラルウォーターが置いてある。



マッコウクジラの歯を磨いた首飾りは高貴な人への贈り物。政府の許可なしには国外へ持ち出せない貴重品。

ようこそ大阪へ

世界の国からコンニチワ!

取材・文/大迫 力 松本 創(以上本誌) 山下敦子



なにわ橋駅周辺
中之島バラ園が
お気に入り

🇵🇪 Peru

ロベルト・アルバさん
『メルカドラティノ』
編集長 / 48歳
ペルー出身

大阪で2年間、エンジニアとして働いた後に転職。当時、スペイン語のフリーペーパーがなかったので、それなら自分で作ってしまおうと仕事が終わってから出版の勉強を重ね、趣味のような感じで月刊誌作りを始めました。1994年、記念すべき第1号は約500冊。大阪や神戸の街を自転車や徒歩で配り回りました。今では全国に約1万9000部を配布しています。不思議ですが洗濯物を干している時や空いた電車に乗っている時にアイデアが生まれるんです。疲れた時は、大浴場や温泉に行き汗をかいてビールを飲んでくつろぎます。なんか日本の男性みたい? あと、大阪人のラテンっぽさを感じられるテレビ番組といえば「探偵ナイトスクープ」。毎週、欠かさず見ます。

『メルカドラティノ』は全国400か所以上のラテンアメリカレストランや輸入食品店などで配布中。http://www.mercadolatino.jp/home.html



好きな
テレビ番組は
ニュース!

🇫🇮 Finland

オツオ・マッキネンさん
大阪YMCA国際専門学校
日本語学科 / 24歳
フィンランド出身

日本語を勉強するために大阪に来て丸2年。大阪は人が多いのに安全で、ゴミも少なく綺麗なので気に入っています。特に、友だちとお酒を飲みながら中之島図書館の辺りをブラブラ散歩するのが好きなんです。もうすぐ帰国しますが、僕はベジタリアンなのでホームステイ先のお母さんが作ってくれた野菜たっぷりの家庭料理とお好み焼きは忘れられません。将来は、フィンランドの大学で福祉や政治を勉強して、また交換留学が何かで日本に戻ってきたい。嬉しかったことは、日本語能力試験1級に受かったこと! 日本語は「愛煙家」「嫌煙家」みたいに、漢字を組み合わせると色々な言葉を作れるところが面白いと思います。これからも日本語の勉強を続けていきます。

2年の間にフィンランド語の先生のバイトをしながら日本語を猛勉強。卒業式では代表として答辞を述べるまでの実力。



大阪は、
日本で一番
好きな街

🇦🇺 Australia

ジェラード・イデイさん
[ル・コントワール・ド・ブノワ]
レストランマネージャー / 36歳
オーストラリア・シドニー出身

初めて大阪に来たのは20歳の時。シドニーの日航ホテルから、帝国ホテル大阪のオープニングスタッフとして派遣されました。6年間そこで働いたあと、ホテル日航ベイサイド大阪や、東京のレストランなどずっとサービスに関わる仕事をしています。東京のレストランと比べて、大阪のお客さんは人間的です。ストレートに意見を言いますが、素直に聞くことができたら店全体が成長できる。コミュニケーション好きだから、一度好きになつたらずっと通ってくれる。「今週獲れたけど、泉州の魚です」なんていうジョークにも突っ込んでくれます(笑) まだ若い頃、サービスを学ぼうと中之島のロイヤルホテルに行きました。その時の素晴らしいサービスには感激しましたね。

西梅田[ブリーゼブリーゼ]のフレンチビストロで、フロアサービスを統括。流暢な日本語でのジョークもお手もの。☎06-6345-4388



「日式就活」に
まい進中です

🇨🇳 China

蔡瑤さん
神戸大学大学院生 / 28歳
中国・上海出身

日本の企業を志望して、いま就活中です。セミナーや説明会で淀屋橋や天満橋にもよく来ますよ。中国では一斉の定期採用というのはなくて、希望の企業に履歴書を送り、欠員があれば面接を受ける。「内定」もなく、受ければ卒業前から働く人も多いです。日本はいろいろ厳しいですね。エントリーシート(企業への応募書類)を何枚も書いたり、SPI(適性試験)を受けたり。日本語の試験もあります。スーツ? 黒ばかり3着です(笑)。大学院は国際協力研究科で、アフリカの初等教育を研究していますが、希望は商社やメーカー。中国で事業展開している会社で日中の架け橋になりたい。そこで経験を積み、将来的には国際協力機関や中国の外務省で働くのが夢です。

来日2年半。研究と就活、ラーメン屋さんでのアルバイトで多忙の合間に、交流団体「HAMIC」(P5)を立ち上げる。



2011年
5月講座

連続講座「大阪の歴史をやり直す」

◎宗教 大阪の神さん、仏さん〈神さん編〉その2

対談／**釈 徹宗**（浄土真宗本願寺派住職） **高島幸次**（大阪大学招聘教授／大阪天満宮文化研究所員）



大好評だった対談の続編が早くも決定！ 神さん、そして仏さんから学ぶ、大阪の知られざる歴史。

今年の1月、大阪倶楽部で開催された「大阪の神さん、仏さん」。釈徹宗先生、高島幸次先生の名コンビによる対談は、ボケ・ツッコミあり、知識の応酬ありで聴衆を沸かせた。この2人にかかればおよそ分らないことはないのでは…そんな予感さえした対談は当然ながら制限時間オーバーに。というわけで待望の第2

回を早くも開催することに。

今回は読者との共通理解をつくるべく、神道や神社についての一般的な解説が中心となったが、今回からはいよいよ大阪の神社の特徴に迫っていく。大社・古社の歴史や、中之島に集まっていた蔵屋敷の中のお宮さんにまつわる話、江戸幕府が大坂に建立した川崎東照宮と大阪天満

宮の関係など、都市として繁栄してきた大阪に特有の神社のあり方とは何かを探っていく。

シリーズは今後、まだまだ続いていく予定。お聞き逃しのないように！

◎次回回は…〈神さん編〉その3「大阪の神社と夏祭り」は7月22日(金)の開催を予定しています。詳細は6月号の月刊島民で！

大阪の神さん、仏さん〈神さん編〉その2

講師／**釈 徹宗** **高島幸次**
日時／5月19日(木) 7:00PM～(開場6:30PM～)
会場／北御堂
受講料／1,500円 定員／200名
主催／ナカノシマ大学事務局
協力／大阪21世紀協会

募集要項

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学5月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。





大阪人顔負けの軽快なトークで会場を沸かせた中沢先生。これも大阪アースダイバーの賜物か。

縄文時代の古地図を現在の地図と見比べながら、その街がどうして現在の姿になったのかを解き明かす中沢新一先生の「アースダイバー」。昨年4月に追手門学院で行われた「大阪アースダイバーへの道」での講義も記憶に新しいところだが、今回は大阪を飛び越え、東京の地で開催された。

出演者は現在、週刊現代で「大阪アースダイバー」を連載中の中沢先生をはじめ、連載の水先案内人を務める釈徹宗先生、さらにパネリスト兼進行役として平松邦夫大阪市長。3人が奏でる絶妙なセッションにより、東京と大阪の「土地の記憶」から見た今が浮き彫りにされていた。

縄文時代の地形を比べてみると東京は5000年以上もの昔から、昨今パワースポットと呼ばれるような場所の位置がほとんど変化していない。ところが大阪は坐摩神社のような有名な神社でも時代によってどんどん場所が移り変わっていく。ただし「場所は変わっても信仰や祭りの形などの根本的な部分は変わらない。変わっていくものと、変わらないもの、その両方が残っているのが大阪という都市

2011年2月8日(火)

ナカノシマ大学×講談社現代ビジネス

「アースダイバーで読み解く、東京・大阪」

@講談社 講堂

講師／中沢新一(多摩美術大学芸術人類学研究所)

釈徹宗(相愛大学教授) 平松邦夫(大阪市長)

の不思議さや深さ」。中沢先生がアースダイビングの次の舞台に大阪を選んだ理由はここにあるのだ言う。

「大阪アースダイバー」の中で中沢先生がまず注目したのは、2つの「軸」である。さまざまな宗教的スポットが渾然一体となった生駒山地という南北のライン、そこから住吉大社など海岸線沿いの大きな神社に向かって延びる東西のライン。この対立関係こそが大阪の人々の精神構造に深く関わっており、それによって都市の活力を生み出してきたのだと指摘する。同時に、「東京のように単一の軸だけにしてしまうことで、大阪の良いところが出なくなるのでは」と、これからの大阪のあり方に警鐘を鳴らした。

釈先生も、聖徳太子が四天王寺建立の折に「私と(対立している)物部守屋は一体です。一体であって2つに分かれているに過ぎない」と述べたという逸話を引き合いに、「多様なものや敵対しあうものを、包含しながら一つの世界を作り出すことが大阪の精神のベースにあるはず。ただ、近年明らかにそれが



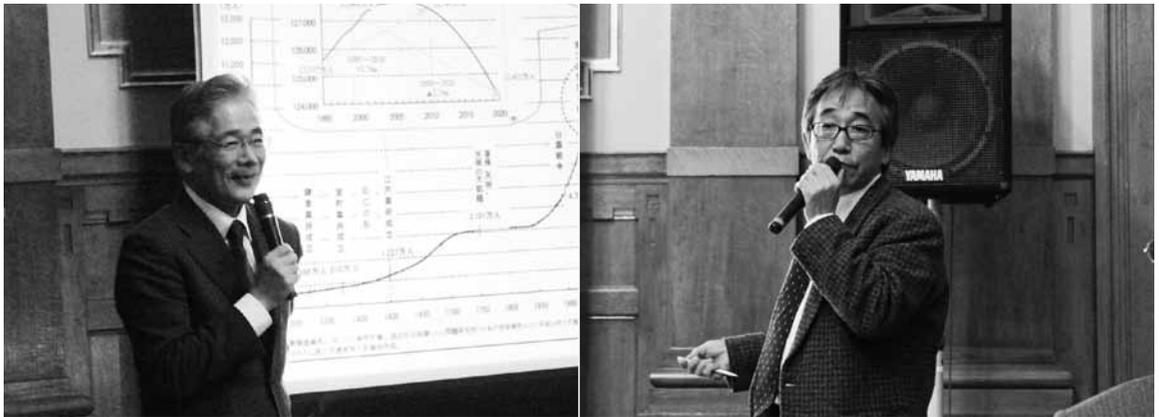
会場となったのは講談社の講堂。「あしたのジョー」の石徹のお葬式が行われた場所。

弱まってきている」と続けた。さらに平松市長も「世界の歴史から言えば、ごく最近生まれたばかりの貨幣価値や市場経済の概念にみんな一辺倒。本当にそちらばかりに傾いて良いのだろうか」と感想を述べた。

土地の記憶として古代から受け継いできた柔軟性や多様性、包容力が、東京や大阪だけでなく日本全体に欠けつつあるのではないかと、というのが3人に共通する問題意識。大阪が終わればまた別の土地へと続いていくアースダイビングが、日本のこれからのあり方を考える上で大きな一助となることは間違いないだろう。



平松市長、釈先生のお二人も、自身の立場ならではの視点から、大阪という土地の記憶について語っていた。



2011年2月18日(金)

「大阪から考える『移行期的混乱』」

◎大阪市中央公会堂

対談／平川克美(リナックスカフェ代表取締役社長) 平松邦夫(大阪市長)

政 治家、財界人、経済学者たちがこぞって唱える経済成長期待論からの脱却を説いた『移行期的混乱—経済成長神話の終わり』。ナカノシマ大学2月講座は、その著者である平川克美氏を講師に招いた。日本は今なぜ「有史以来の転換期」を迎えているのか。経済成長戦略なるものが今後も必要なのか。1000年単位の時間軸から戦後社会を眺め、「日本はもう経済成長しない」という結論に達した平川氏の対話相手を務めたのは、平松邦夫大阪市長。家族や共同体の変化、行政の役割や目指すべき方向について意見を交わしながら、大阪が「移行期的混乱」を乗り切るヒントを探った。

「目に見えていることと、見えている



会場は公益に資する「ダンナ精神」の象徴たる中央公会堂。大阪の今後を考える人々の熱気が満ちた。

ことの意味が分かるというのは違う」。平川氏は冒頭、横尾忠則氏の不思議な絵画を例に語った。大切なのは、思い込みのバイアスを取り除き、現状を正確に把握すること。「経済成長を期待する目で見ると、大事なことを見落とします」。

鎌倉時代の日本の人口は698万人。江戸時代は3000万人で落ち着いていたが、明治以降は人口爆発ともいべきペースで増え続けた。それがピークに達し、減少に転じたのが2006年。それは必然だったと平川氏は言う。「自由に働き、自由な生活をし、個人を確立する社会を人びとは目指した。結婚や出産が減り、日本的な家族が崩壊したのは、民主主義が進展した結果なんです」。

人口が減れば、国民の消費が大きな要因となるGDPが伸び悩むのは「自明のこと」と平川氏。「問題は成長戦略がないことではなく、成長戦略がなくてもやっていた戦略がないことが問題なのだ」と著書での持論を展開した。

— れを受けて登場した平松市長が手にしていたのは「大阪市経済成長戦略案」。会場の笑いを誘ったが、「これを作ったからよしではなく、市民の自治

成長率や総人口のデータを丁寧にしながらの講義。戦後復興期～相対安定期～高度消費の時代と、グラフから日本の推移が一目瞭然。さて今後は…。



の力を活かす仕組みを作らねばならない」とした。2人に共通するのは、政治をビジネスと同じ視点で語ることへの危惧。「大阪でも東京でも、効率やスピードといったビジネスの価値観を政治に持ち込む動きがあるが、二つはまったく別物」と平川氏が言えば、平松市長は「自治体の一つの会社と見ると過ちを犯す」と、市場原理主義的な考え方に異を唱えた。

これからの方向性として、平川氏が注目するのは家族、そして共同体の再生。「私たちはそれを嫌って解体してきたが、身近な人が支え合う社会に戻らざるを得ない」。父親を介護する経験からの実感だ。平松市長にとっても、自治の再生は繰り返し訴えているテーマ。経済の停滞は単に経済戦略の問題ではなく、社会構造全体の問題。再生へ向けて根本から価値観を見直す必要がありそうだ。

4月の時間割

ナカノシマ大学ほか、中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。

16・19	土火	1:30PM~ 6:00PM	「ちょうちょのにんぎょうをつくりましょう！」IRIRI (にんぎょう作家) 参加費：4,200円(お茶とお菓子付き) 10cmくらいの布製ちょうちょ人形を作ります。持ち物／糸切りばさみ	会場 D
16	土	2:30PM~ 4:30PM	「ワイン講座～春のアルザス」N. Lee (ワインコーディネーター・ボンバル江戸堀店主) 受講料：2,000円 アルザス地方を旅する気分です3～4種のお値打ちワインを紹介します。	会場 C
17	日	0:30PM~ 3:30PM 4:00PM~ 7:00PM	「神尾茉莉と阿部菜の ひみつの表彰式」神尾茉莉 (衣装作家) 受講料：4,200円(材料費・プチおやつ付き) 刺繍で勲章型のヘアアクセサリを作ります。みなさんのヘアセットをさせていただきます！一緒に自分をお祝いしましょう！！	会場 D
17	日	A 1:00PM~ 2:30PM B 3:00PM~ 4:30PM	「紅茶教室」Yuriko (ティーコーディネーター) 参加料：2,000円 (お菓子作家HIKEの焼き菓子付き) A:世界三大紅茶 B:はちみつと紅茶 <基本の淹れ方と共にレクチャー&試飲を致します>	会場 B
20	水	2:30PM~ 4:00PM	「宝塚・百合珈琲教室【プロから学ぶ～世界の珈琲】」百合千佳 (宝塚・「百合珈琲」店主) 料金：2,000円(お菓子とお土産付き) 本当に美味しい珈琲とは？世界の珈琲を飲み比べてみませんか？	会場 E
26	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ！～古今東西名作朗読会～」石原正一 (役者・作演出家) 受講料：1,500円 古今東西の名作を参加者全員で読みまくる夜です。具体的に配役に分けて、名作文章の世界を楽しんでいただきます。	会場 A
27	水	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎 (翻訳家) 参加費：1,500円(お茶付き) 谷川俊太郎の日本語訳もある、マイケルローゼンの絵本『Michael Rosen's SAD BOOK』を読みます。	会場 F
29	金祝	1:00PM~ 4:00PM	「赤ずきん携帯ミラー刺繍のワークショップ」annas /かわばたあんな (刺繍作家) 参加費：4,200円 『annasのはじめての刺しゅう小物』より本に載っている赤ずきんの携帯ミラーを作ります。初心者OK。持ち物：ボールペン	会場 D

A common cafe

大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1F

☎06-6371-1800

http://www.talkin-about.com/cafe/

B 雑貨屋Biscuit cafe

大阪市北区中崎西1-9-24 中崎ハウス202

☎090-9254-1223 http://biscuit-cafe.com/

C フレイムハウス

大阪市中央区淡路町1-6-4

☎06-6226-0107 misalele39@gmail.com

http://www.katana.cx/~fureimu/

D タビエスタイル

大阪市中央区南船場4-4-17 B1

☎06-4963-7450

http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/

E ポーボー屋

大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング2F

☎06-6531-7827

http://www2.odn.ne.jp/ippuku-popo/

F 貸本喫茶ちょうちょぼっこ

大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング4F

http://www.geocities.co.jp/chochobocko/

G スタンダードブックストア

大阪市中央区西心斎橋2-2-12 クリスタグランドビル1F BF

☎06-6484-2239

http://www.standardbookstore.com/



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の[アートエリアB1]。4月のラインナップはこんな感じ。

6	水	7:00PM~ 8:30PM	歯医者とカフェ「入れ歯あれこれ」定員:30名 第2回は、入れ歯について話しましょう。面白い話、ためになる話、役に立ちそうな話、いろいろ出てきますよ。診療室では尋ねにくいことも、ここではOK!
13	水	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ/哲学カフェ「気遣い」定員:50名 コーヒーを飲みながら、幅広いテーマについて問いを立てて議論を楽しみます。4月のテーマは「ケア」。「気遣い」とはなにか、どんなときに気遣いが求められるか考えましょう。
15	金	7:00PM~ 9:00PM	シアターカフェ「良い声で会話してみましょ。」定員:30名 シアターカフェは、舞台芸術にまつわるカフェです。今回のテーマは「良い声」。身体と心をリラックスさせて、良い声を出せるコツを知って、良い声で雑談してみましょ。
19	火	7:00PM~ 9:00PM	鉄道カフェ「災害時における鉄道」定員:30名 3月11日に発生した未曾有の事態を受け、「災害時における鉄道」をテーマとします。対話を通じて問題や課題を紡ぎながら進めたいと考えています。
20	水	7:00PM~ 9:00PM	マンガカフェ10「BL(ボーイズ・ラブ)って何？」定員:50名 男性同士の恋愛を描いたマンガ、「BL(ボーイズ・ラブ)」。入門的なレクチャーのあと、その魅力を語り合います。メインゲストは今大注目の若手マンガ家えすとえむさんです。
22	金	7:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレージュ/哲学セミナー「となりの認知症」定員:50名 「認知症」について考えてみませんか。高齢者介護を経験し、認知症ケアの研究にも携わっている西川勝が、体験を報告しながら参加者のみなさんといっしょに考えていきます。

会場/アートエリアB1 参加費/全て無料 開場/それぞれ30分前から 問い合わせ/[カフェの内容について] 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) ☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!(OCC!)では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一語に集め、紹介していきます。

※大阪カルチャークラスター!!では、参加店舗を募集中です。お問い合わせは singles@do.ai (common cafe) まで。

3	日	12:00AM~ 2:00PM	『SWITCH』創刊25周年記念 新井敏記トークショー 参加費：700円(ドリンク付き) ライターやエディターを目指す学生さんにはぜひ!雑誌作りとは、本屋とは、を深く話して頂きます。	会場 G
3	日	2:00PM~ 4:00PM	「こけだま教室【ハーブのこけだま】 まつもと(緑とこけだまの店・「三日月豆」店主) 参加料：3,800円(材料費+軽食+お茶)こけだまにハーブをあしらって、インテリアにもお料理にも楽しめます。	会場 E
4	月	7:00PM~ 9:00PM	「会社帰りの1day陶芸教室【片口】」辻 久悟(陶芸教室「Room Room」主宰) 参加料：4,500円(材料+軽食+お茶) つゆ入れ・酒器・小鉢と多用に使える器を作ります。20色ある釉薬の中から好きな色が選べます。	会場 E
6	水	6:45PM~	「free conversation」Richard Farmer (大阪府立大学講師) 参加費：2,000円(お茶付き) 旅行、音楽、映画、おいしいもの、などなど何にでも詳しいリチャード先生と英語でおしゃべりしましょう。	会場 F
9	土	7:00PM~	2010年代を導く新感覚言論誌『思想地図β vol.1』シンポジウム 参加費：2,000円 出演者：東浩紀、浅子佳英、鈴木謙介、福嶋亮太	会場 G
11	月	7:00PM~ 8:30PM	「落語を楽しむ~入口遊びで、出口は文化」桂蝶六(落語家) 受講料：2,000円(テキストつき) 声を出す、落語に学ぶ、落語を聴く。落語初心者の方対象です。普段の話し方にも役立ちますよ。	会場 C



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂

●21世紀懐徳堂講座 大阪大学創立80周年記念スペシャル「芸術する学問」

5/2	月	5:00PM~ 6:40PM	「歴史を見る視点」平田オリザ(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授) 桃木至朗(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授) 平田オリザ作・演出の『ヤルタ会談』を上演後、桃木至朗教授を迎えて、芸術家と歴史学者の「歴史」に対する眼差しの差異と同一性を探ります。会場/大阪大学会館1F 大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ(豊中キャンパス) 定員/100名
5/3	火・祝	2:00PM~ 4:00PM	「バーゼンドルファー 1920 演奏とお話」伊東信宏(大阪大学大学院文学研究科教授) 小坂圭太(ピアニスト) 大阪大学会館の講堂に導入されたバーゼンドルファー社の1920年製のグランド・ピアノを披露するに際し、この楽器に相応しい演奏を聴き、語り合います。会場/大阪大学会館2F 講堂(豊中キャンパス) 定員/300名
5/4	水・祝	2:00PM~ 5:45PM	「中之島は文化の蔵屋敷」高島幸次(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター招聘教授) 橋爪節也(大阪大学総合学術博物館教授) 桂三風、林家染左、林家花丸(落語家) 第1部は高島幸次教授の講義後に落語を3席。第2部は高島幸次教授、橋爪節也教授、落語家3名によるトークセッションを行います。会場/大阪大学中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール 定員/180名

※おこたわり 東日本大震災の影響で、この講座は延期が決定いたしました。
詳しくは大阪大学21世紀懐徳堂までお問い合わせください。☎06-6850-6443

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

9・23	土	10:30AM~ 12:00AM	「先端医学の「いま」を知る」仲野徹(大阪大学大学院生命機能研究科教授) 第1回目で先端医学の可能性を、第2回目にはあまり報じられることのない、残されている問題点について話し合っていくたいと考えています。受講料3,150円(全2回)
9	土	2:00PM~ 3:30PM	「自律神経とストレス~ IBS(過敏性腸症候群)から更年期まで」石蔵文信(大阪大学大学院医学系研究科准教授) 頑張りすぎる子どもから大人まで、メンタルストレスを乗り切り心身ともに健康になるヒントを紹介。今回は症状の中でも、誰にも相談できない下痢にフォーカス。受講料1,575円

会場/大阪大学中之島センター インターネット、電話、FAXか、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込むことができます。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221 問い合わせ/朝日カルチャーセンター(中之島)☎06-6222-5224

●植物探検隊 豊中キャンパスの待兼山で行う植物の観察会です。

17・24	日	1:30PM~ 3:30PM	「植物探検隊@春の待兼山を訪ねて」栗原佐智子(『キャンパスに咲く花』編著) 大阪大学豊中キャンパスの待兼山は普段は一般開放されていません。 里山の自然を体感できる貴重なスポットで、植物の観察会を行います。
--------------	---	-------------------	--

集合場所/大阪大学会館1階 21世紀懐徳堂スタジオ 参加費/無料 定員/各日20名 申し込み・問い合わせ/大阪大学21世紀懐徳堂「植物探検隊」係☎06-6850-6443

研修医は「受持医」という形で患者を担当する。実際に治療をする「主治医」は、指導医が務め、研修医はその指示でいろいろな雑用をするのである。

それでも研修医は患者にいちばん身近な存在で、毎日、病室に顔を出し、変わりはないが心配なことはないかなどと、コミュニケーションをはかる。

研修をはじめてしばらくしたころ、私は67歳のMさんという食道がんの患者を受け持った。彼女は独り身で、身内もいなかった。私が挨拶をすると、「むずかしい病気だと聞いています。よろしくお願いします」と丁寧に頭を下げた。「大丈夫ですよ。頑張りましょう」と励ますと、唇を引き締めて「はい」とうなずいた。

通常、患者はすべての検査を終えてから入院するが、MさんはなぜかCTスキャンの結果がまだ出ていなかった。

医局では毎週、疾患グループごとにカンファレンス（検討会）が開かれる。私はCTスキャンの結果を待つて、Mさんの新入院紹介を行った。当時、食道がんの手術は消化器外科では大物、扱いで、検討会に参加していた医師たちは興味津々で私の発表を聞いていた。レントゲン写真を見せたときも、医師らががんの部位に熱い視線を注ぐのがわかった。

ところが、CTスキャンのフィルムを出したとたん、雰囲気が一変した。Mさんの肝臓には転移があったのだ。

「なんや。インオペ（手術不能）か」
だれかが言うと、医師たちは手のひらを返すように興味を失った。私は「もういい」と言われ、紹介を途中で終わらされた。

席にもどって指導医に聞くと、不機嫌そうに「インオペなら転院や。紹介状を書くから、すぐ退院の手続きをしろ」と言われた。肝臓に転移したがんは、手術で治る見込みがないので、大病院では治療しないというのだ。私は茫然として、そのあとのカンファレンスの内容が耳に入らなかった。

Mさんにいったい何と言えいいのか。彼女は最高の治療を受けたいと思つて大病院に入院してきたはずだ。私も「頑張りましょう」と励ました。そこにはすでに人間的な関係ができている。それを今更、治りませんかからほかの病院へと、どんな顔で言えるだろう。

たとえ根治手術が不能でも、食道の狭窄（きょうさく）を防止する手術とか、抗がん剤や放射線治療はできるはずだ。Mさんはそういうことも含めて、大病院での治療を期待していたのではないか。

しかし、指導医の指示には従わざるを得ない。「Mさん、すみません。転院していただくことになりました」

病室に行つて頭を下げると、彼女は「わかりました」と静かにうなずいた。先に指導医が説明をすませていたようだ。

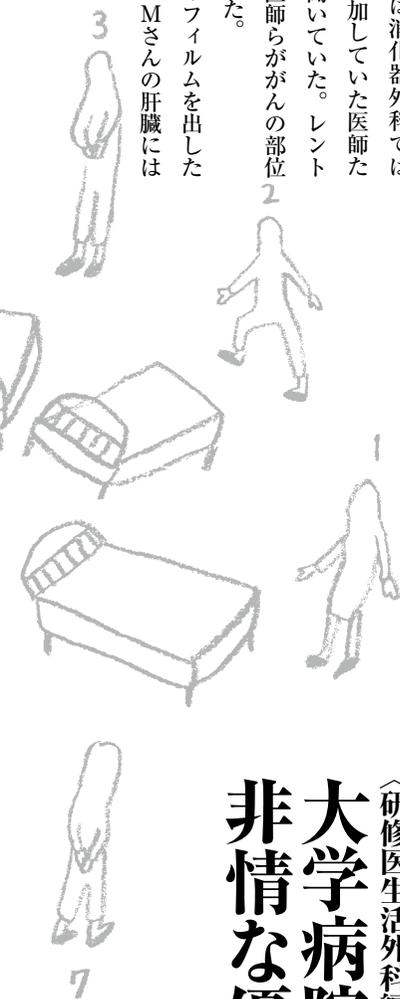
Mさんが転院したあと、指導医に言われた。「大病院は、治る患者のための施設なんや」しかし、それはMさんという1人の患者を見捨てることにはならないのか。大病院は、非情な優先順位で、患者を選別するところなのだ。と教えられ、私は複雑な思いを持て余した。

ここで終わると、いびつなヒューマニズムになつてしまうので、続きを書く。

この話を読んで、大病院はひどいと憤りを覚えた人も少なくないのではないか。Mさんの立場になれば、だれだってそう思うだろう。し

中之島から青春記② 久坂部羊 〈研修医生活外科編Ⅱ〉

大病院の 非情な優先順位



かし、もしあなたが、がんの診断を受けて、手術のための入院待ちをしている患者、あるいはその家族だったらどうか。

今なら治る。しかし、待っているうちにがんが転移するかもしれないし、重要臓器に癒着して、手術不能になるかもしれない。

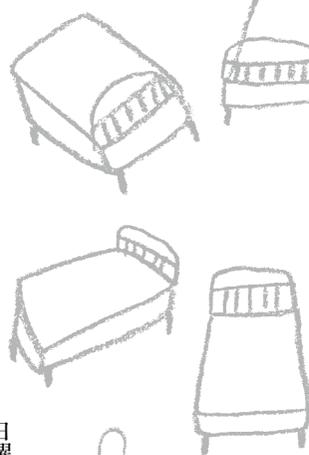
そんなとき、治る見込みのない患者が、長々とベッドを占領していたらどうか。治らない患者の治療は、関連病院でも十分にできる。それを大病院で最高の治療を受けたいからといって、その患者が転院を拒んだらどうか。その患者の気持を尊重して、じっと待てるか。

大病院の判断は、少しでも治る可能性のある患者に、ベッドを提供しようとしたにすぎない。それは単なる合理主義だ。指導医たちは何もMさんを個人的に見捨てたわけではない。しかし、Mさんの身になれば、見捨てられたも同然だろう。

医療の現場には、このような「合理主義」vs「ヒューマニズム」の衝突がままある。それは長らく医師を続けてやつとわかったことだ。

カンファレンスで、肝臓に転移があるとうわかった瞬間に興味を失ってしまった外科医たちを、私は今もひどいと思う。しかし、その同じ医師たちが、治る見込みのある患者には、懸命に長時間の手術を行い、困難な術後管理にも不眠不休で、私生活を犠牲にしてまで取り組んでいたことも私は知っている。

だから、ドラマやドキュメンタリーでよくあ



るように、医師の一面だけを捉えて、ひどいとか、すばらしいとか言うのは、いびつだと私は思う。

私は勉強不熱心で、研修医のなかではいつもいちばん早く帰るし、休みの日にもほとんど病院に行かなかったため、指導医によくいじめられた。カンファレンスで、私のカルテを広げて、「君のカルテからは、何も伝わってこない」とののしられたこともある。はじめから伝えるものがないのだから、それはそうだろうと内心で納得した。

胆嚢炎たんのえんを起こした患者を、2時間おきに診察しろと言われたこともある。痛みの範囲が広がらないかチェックしろというのだ。土曜日の午後から日曜日も缶詰になり、夜中も調べなければならなかった。何もわからない私は、それが必要不可欠なことなのだと思ひ、忠実に指示に従った。

日曜日の午後になって、痛みの範囲が少し広がったように見えたので、これはいけないと思ひ、すぐに指導医に電話をかけた。するとひどく面倒そうな調子で、「当直の先生に診てもらえ。それで悪くなっていたら診に行く」と言われた。病院に來たくない雰囲気がありあつた。当直の指導医に診てもらおうと、炎症は悪化してはなかつた。私が2時間ごとにチェックしていると言つと、「そんなに診る必要はないよ。昨夜、寝てないんなら、僕が診ておくから、帰つていいよ」と言つてくれた。それでこの診察命令がイジメに近い指示だつたとわかつた。

ほかの研修医たちは、みんな「優秀な医師」になろうと思つていたのである。私はそのお手本たる「優秀な指導医」たちに、ある種の反感を感じていた。彼らの頭にあるのは、研究、論文、学会、大学を出たあとのポストばかりのように見えたからだ。患者と人間的な関わりを持つとうとする医師は少なく、だから患者が退院するときでも、喜びをともにして見送るなどということはまずなかつた。それは私がイメージしていた「よい医師」とはちがつた。

「よい医師」「優秀な医師」とは何か。その問題は、今も私を悩ませている。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。「今月発売の『小説すばる』に『シリコン』という短編が出ます。豊胸術に失敗した超不運女が、手術を担当した超エリート医師に復讐するブラックな作品です。」

今を去ること400年。豊臣家と徳川家が戦をした。冬の陣、夏の陣と言われる戦。これで豊臣家が敗北し徳川時代が盤石になった。

その冬の陣が起る直前に、一人の豊臣方の武将が意見を言われず、秀頼公の御身を案じながらも退城を余儀なくされた。豊臣忠臣・片桐且元である。駒にまたがりわずかの供を従え、城の北方、大川の左岸（西側）を、居城のある茨木へと帰るために北へと向かう。

すると後ろからバババツと蹄の音。ヒヨイと片桐が振り返ると、若武者が一人。これなん大坂城の若木桜と言われた木村長門守重成。

「片桐殿、残念の極みでござる」
「私の力不足。我無き後は城内に真田幸村殿を軍師としてお迎えなされ。」

大川に咲き誇る桜は、 豊臣家の無念を宿すか。

彼なれば計略を尽くして豊臣のために戦って下さるに違いない」

「ハハッ」

これが今生の別れとなった。重成は片桐の助言通り、幸村に入城してもらい、冬の陣に勝利。ところが、老獪な家康のために大坂城の堀は全て埋められてしまい、夏の陣で豊臣は滅亡するのはご存じの通り。若木桜の木村重成も河内若江の戦で23年の生涯を終えた。

時代は江戸時代。いつの頃からか大坂の人たちは「この辺で、木村重成はんと片桐且元はんが別れたんやな」と大川の土手上で話すようになり、正式な地名ではないが「木村堤」と言われるようになった。今の源八橋から北の

辺りである。

そして、桜の木が植えられ始めた。

「若木桜の重成はんが、片桐はんをわざわざ追いかけて名残を惜しんだ場所やから、桜が合うで」と話がついたのでは」と講釈師は想像する。

川の東側は「桜ノ宮」。社が勧請されて一層桜の木が植樹された。春になると東西で競うが如くの爛漫を演出した。桜の数はさらに増え、樋之口町から毛馬辺りまで延びた。

幕末の頃おい、木村堤の南に藤堂家の蔵屋敷があった。服部庄左衛門という家臣が「川を挟んで東西の花の競演は見事。邸内にも植えよう」と植樹した。

時は明治に入り、藤堂家蔵屋敷の南

側に建設されたのが造幣局。敷地の一部は藤堂屋敷にかかった。今は誰もいなくなった屋敷の庭前に咲く桜。「これは素晴らしい」と造幣局の中へ移植し、職員たちの心を癒やした。それから若木を次々と植樹した。

そして明治16年（1883）、遠藤謹助造幣局長は「この素晴らしい桜を局内の職員たちだけで愛でるのはもったいない」と一般公開にした。「通り抜け」の始まりである。

毎年、当たり前のように咲いてくれると思ってしまう我ら。桜に思いを託した先人たちに申し訳がない。今年是非、木村堤から大坂城へと、歴史に思いを馳せながら大川を下ってみるのもよい。

きょうどう、なんか、
1964年、兵庫県出石市生まれ。大阪大学卒業（1989年）に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪市より「咲くぞの花賞」授賞。得意ネタに「天開記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天満屋騒動記」など。

また来てしもたわ、 あー中之島。

其の十七
ヌルヌルしたもんをとったら
カスカスのギスギス。

先月号で、街が都市が川が道が家が店が、かしくなつて線が真っすぐになって清潔になって明るくなって来ていて、俺も住みにくくなるというようなことを書いた。

そんなことを裏寺の居酒屋でつぶやいていたら、来ていた45歳くらいの高くない背広を着ていた男が、「まあ言うたら、水清ければ魚棲まず、ちゃいまんのか」と打ち返しがかった。くやしから「なんで水がきれいやったら魚住まへんのか知っているか？」と言うと、高くない背広男はそれには答えず、続きのタマを待っていた。

なので、「俺は魚と違ってヌルヌルした動物やさかいヌルヌルしたもんが好きなんや、そやし好きな食もんはナマコとか貝やし、着るもんもイチローやらが履くようなタイツよりもラクダのパンツが好きやし、クリーニングから戻りたてのバリッとしたシャツ見たらサバイポ出るんや。そやけどサバイポ出しながらんぼって袖を通して、よそ行きの服着てフォークでカチカチやるレストランにも行くし、着物着ていくような店にも行く時は行くで、俺も。ほんで適当に挨拶もするし」というようなことを言った。

すると高くない背広男が喜んでいたので、チロリに残っていた俺の熱燗を彼に一杯注ぎながら、「俺なんか俺からヌルヌルしたもんをとったらカスカスのギスギスやしすぐに傷だらけになってヨレヨレやでそんなもん。そやしいろんな生地や布や当て布やらを貼りまくってやってるんやろうと思うわ。湯気があるこんな店で飲んでる人はみんなそんなんちゃうんかなあ」と言いながら、俺が熱燗をお代わりしたら高くない背広男も「俺も熱燗」と注文した。

「それにしてもそのスーツベラベラやな」と言う。「こんなん着てたらそれで済むんで、楽ですわ。ほんまに」と言って、熱燗を飲む奴独特の感じのいい笑顔で俺を見たので、「ほんなら街のスパイ度いうのん知ってるか」と俺はさらに話しかけた。

「ヌルヌルが住みやすい町」「京阪三羽ガラス」「街のスパイ度」。これが最近の俺の十八番の話だ。今月こそ中之島に行かないと、そろそろこの連載はすれそうやな。

ばっきーいこのうえ 京都・錦市場の漬物店【錦高倉屋】店主にして日本初の酒場ライター。雑誌【Meets Regional】などで名プレズを量産中。近著『京都店特撰』が絶賛発売中。

シマにまつわるあれこれの名刺を勝手にデザイン
ワタクシ、こういう者です。

デザイン/長友啓典



「北ヤード」あらため、
「うめきた / 梅北」です。

こんにちは。「うめきた」と申します。
いえ、初めてではないんですけどね。
ずっと前からお目にかかっていた場所ですよ。
そうです、以前は「北ヤード」と呼ばれていましたね。
それが、ついこないだいい名前をつけてもらいました。
実は市民のみなさんの公募で決まったんです。
ぜんぶで4000通以上も応募があったんですけど、
ありがたことです、ほんとに。選ばれた理由ですから、
それがね、「梅田の北」に好きやから、
大阪人は何でも略すのが好きやから、
それやったら最初から略しといたらええやんって(笑)
なかなか大阪らしい面白い名前ですよ。
再来年にオープンする予定なんですけど、
これからもよろしく願いますね。

◎名刺のココロ

「うめきた / 梅北」とネーミングが決まったお祝いに、命名書風のデザインにしてみた。「梅新」という名前が昔からあるように、馴染みやすい名前になったと思う。大阪人はもちろん、大阪を訪れる全ての人に愛される場所になってほしい。大阪に帰る楽しみが増えた。

ながとも・けいすけ

1939年大阪生まれ。1964年日本デザインセンター入社。1969年黒田征太郎とK2設立。エディトリアル、各種広告を手がけるほか、多数の小説に挿絵、エッセイを連載。自身が手がけた名刺デザインをまとめた「成功する名刺デザイン」(共著・講談社)も発売中。

「ぜひあの人の名刺を」「あの場所を擬人化して名刺を作ったら面白い」などのリクエストを募集します。

CREVIA

クレヴィアタワー中之島

NAKANOSHIMA

BLUE

都市生活は、青の新章へ。

ナカノシマブルー

検索

※外観完成予想図

大阪・中之島、水辺に生まれる
地上36階、オール電化、制振 超高層レジデンス。

「クレヴィアタワー中之島」

モデルルーム案内会開催中

予定販売価格(税込) 2LDK 56.51㎡ 2,700万円台~

予定販売価格(税込) 3LDK 86.17㎡ 4,600万円台~

予定販売価格(税込) 3LDK 72.53㎡ 3,700万円台~

予定販売価格(税込) 3LDK<最上階> 110.53㎡ 9,300万円台

■物件概要 ●名称/クレヴィアタワー中之島●所在地/大阪府福島区福島3丁目1番4(地番)●交通/京阪中之島線「中之島」駅徒歩4分、JR東西線「新福島」駅徒歩5分、阪神本線「福島」駅徒歩5分、JR環状線「福島」駅徒歩8分●地域・地区/商業地域●分譲後の権利形態/建物専有部分は区分所有権。敷地及び共用部分は専有面積持分割合による所有権の共有●敷地面積/2,281.16㎡●建築面積/1,109.21㎡●建物延床面積/29,265.83㎡●構造・規模/鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上36階建●総戸数/250戸●予定販売価格(税込)/2,540万円(1戸:55.74㎡)~10,990万円(1戸:120.12㎡)●予定最多販売価格帯(税込)/2,800万円台(17戸)●間取り/1LDK~3LDK●住居専有面積/55.26㎡~120.12㎡●バルコニー面積/6.01㎡~24.45㎡●管理費等/未定●駐車場/152台(賃貸)(電気自動車充電専用パレット2台含む)(使用料未定)●バイク置場/50台(うち大型バイク8台)(使用料未定)●自転車置場/500台(使用料未定)●分譲後の管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に業務委託予定。●建築確認番号/第BCJ10大建確002号(平成22年4月21日付)●事業主(売主)/伊藤忠都市開発株式会社 国土交通大臣(3)第5744号・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒541-0056大阪府中央区久太郎町4丁目1番3号(伊藤忠ビル)TEL.06-6241-3630、野村不動産株式会社 国土交通大臣(11)第1370号・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟・大阪支店 住宅販売部 〒550-0011大阪府大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)TEL.06-6538-5610、関電不動産株式会社 国土交通大臣(2)第6379号・(社)不動産協会会員・(社)大阪土地協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒530-6691大阪府北区中之島6丁目2番27号(中之島センタービル13階)TEL.06-6446-8822●販売提携(代理)/伊藤忠ハウジング株式会社 国土交通大臣(12)第803号・(社)不動産流通経営協会会員・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒541-0054大阪府中央区南本町4丁目2番21号(イヨビル3階)TEL.06-6245-3282、野村不動産株式会社●設計・監理/浅井謙建築研究所株式会社●施工/鹿島建設株式会社●管理会社/伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 マンション管理業者登録、国土交通大臣(2)第030045号、(社)高層住宅管理業協会会員●販売開始予定時期/平成23年4月中旬●建物竣工予定/平成24年8月下旬●入居予定/平成24年9月下旬 ※予告広告・期分け販売等未定のため、住居専有床面積、バルコニー面積等の数値は今後販売予定の総戸数(250戸)を基礎に表示しています。販売戸数及び該当する住居専有床面積、バルコニー面積等の数値は確定後の広告におきましてお知らせいたします。

事業主(売主)・販売提携(代理)

野村不動産

事業主(売主)

関電不動産

販売提携(代理)

伊藤忠ハウジング

■お問い合わせ先は、「クレヴィアタワー中之島」マンションギャラリー

0120-264-250

営業時間 AM11:00~PM7:00(平日) AM10:00~PM6:00(土・日・祝) (水曜日 定休)

予告広告

本広告を行なうまでは、契約又は予約の申込みは一切おこなわれません。また申込みの順位の確保に関する措置は応じられません。あらかじめご了承ください。販売予定時期 / 平成23年4月中旬



4線4駅利用可能

京阪中之島線
「中之島」駅 徒歩 **4**分

JR東西線
「新福島」駅 徒歩 **5**分

阪神本線
「福島」駅 徒歩 **5**分

JR環状線
「福島」駅 徒歩 **8**分

※ 距離表示については地図上の概測距離を、徒歩分数表示については80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。

事業主(売主)

ITOCHU 伊藤忠都市開発

※掲載の外観完成予想図は設計図面を基に描きおこしたものと、現地周辺の写真(2010年10月撮影)をCG処理により合成したもので、実際とは異なります。また、施工上の都合により、外観の形状・仕上・植栽・色彩等を変更する場合があります。また、面格子・アンテナ・避雷針・雨樋・溝・ドレン・一部手摺・物干金物・排水勾配・照明器具・給湯器・消火水栓・その他施設機器等の表現を省略しております。また周辺の建物についても省略しています。尚、四季の植栽計画を同時に表現したものであり、特定の開花状況を示すものではありません。また、竣工時の植栽は完成予想図程度には成長していません。※掲載の写真は計画地周辺の航空写真(平成22年6月撮影)に一部CG処理を施したもので実際とは異なります。

京阪沿線 島民の部屋から。

取材・文／大迫力（本誌）
写真／李宗和



Data 築40年の部屋を弘日さんが中心となり、電気や水道以外は自分たちでリノベーション。もとは二間の和室があった2DK（56平米）だったが、仕切りを取り除き、畳を剥がして1つの大きな部屋に。お二人の両親や知人、会社の同僚も手伝っての改装作業は約3週間。壁や床をペンキで塗ったりタイルを貼ったりした経費は約40万円。



ご夫婦と2人のお子さんとの4人暮らし。かおりさんは不動産リノベーション会社「アート&クラフト」にお勤め。大川や堂島川をめぐる御舟かもめのクルージング予約は<http://www.ofune-camome.net/>から。



川をゆく船、橋を渡る人、川沿いのランニングコースをジョギングする人たち。2人のお気に入りの場所であるペランダに面したダイニングのテーブルから見える風景は、「ゆっくり動くもの」ばかりだ。

「住んでから気づいたのですが、車をほとんど見かけないんです。それだけでこんなに落ちついた気分になれるなんて驚きました」と中野弘巳さん。奥様のかおりさんも、「大川は川幅が適度に広くて、川との距離がちょうど良い。対岸にはビルも見えて、川や緑と街の両方が見渡せるのが好き」と満足そうだ。

大川を見下ろすマンションに中野さんご夫婦が引っ越してきたのはちょうど2年前のこと。雑誌やネットの情報だけに頼らず、自転車で大阪市内を回り、「気持ちよく過ごせそうな場所」を探した。「家賃や間取りも大切だけど、やっぱり環境重視。その街で過ごす生活を想像して、心地良いかどうかを考えるためにはやっぱり行って実感してみないと」（弘巳さん）。

引っ越しのきっかけは、弘巳さんの転職だった。テレビ局を辞め、選んだのは観光船の船長。漁船として使われていた小さな船を買って改装、コーヒーやお酒を飲みながら川からの景色を楽しむクルージング船「御舟かもめ」

天満橋

中野弘巳さん・かおりさん

「街と自然のちょうど真ん中」が心地良い、大川を見下ろす暮らし。

を始めた。いわば大川は弘巳さんの「仕事場」。「水の量やゴミが多いとか、よく分かるのはありがたいですね。どんなクルーズが人気なのか市場調査もできるし（笑）。川沿いだからその職住近接だが、ペランダからお父さんが乗っている船が見えると、二人のお子さんも喜んでいるそうだ。

天満橋駅から徒歩5分ほど、京都や神戸へ出るにも不便はなく、買い物などで困ることもないという。それについて、この眺望。「春になったら窓の外は桜でいっぱい。夏には天神祭の花



洗面所のタイルはかおりさんが自分で貼った。

火もきれいに見えます」（かおりさん）。大阪市内にはたくさんさんの川が流れているけれど、これほど都会的にかつ落ちついた暮らしができるのは、大川沿いだけかもしれない。



（左）ペランダから見える景色。川、そして橋好きの間でも人気の高い川崎橋が目の前に。「車が通らない、人道橋なのがいい」とかおりさん。（右）奥の一段高くなっているところが和室だったスペース。今は杉板張りのフローリングにして、寝室と子供たちが遊ぶスペースになっている。

うちの近所のお気に入り。



喫茶星霜

店主・河野さんが丁寧にしてくれるネルドリップのコーヒーが人気。白板ペンキ塗りの空間に、アンティークのテーブルやイス、ライトなどが並ぶ。南天満公園のすぐ目の前という場所のせいもあってか、ゆったりとした時間が流れる。かおりさんは氷なしが大好きというアイスコーヒーは480円、自家製のケーキやサンドイッチ、カレーなどもあり。☎06-6354-3518 11:30AM～7:00PM（土・日・祝12:00PM～）月曜休

2011年4月1日発行

中之島流！ 桜の楽しみ方！



大阪水上バスでは、お花見の特等席として毎年好評の「桜クルーズ」や「夜桜船」、「お花見トワイライトボート」を今年も開催。「桜クルーズ」は時間帯によって5種類のプランがあり、桜の表情の変化を楽しむことができる。料理

サービスはすべて帝国ホテルが担当するのも人気の秘密。波は自分次第でいー〇つでもそこにある二〇ものだが実はどん三〇なときでも目の前四〇にあるものなのだ五〇海にあるとは限ら六〇ず山にある(金哲志・本誌)

桜クルーズ 運航期間/4月22日(金)まで※予定
問い合わせ/ひまわり予約センター☎0570-075551
夜桜船 お花見トワイライトボート 運航期間/共に4月10日(日)まで※予定
問い合わせ/アクアライナー予約センター☎0570-035551
●料金など、詳しい情報は<http://suijo-bus.jp>

追手門学院大阪城スクエアにて、中之島や大阪を題材にした寄席が開かれる。「追手門寄席」と題し、テーマは「古典・疑古典・創作落語の大阪弁」。噺の中に登場する言葉や言い回しから大阪弁の特徴について考えるもので、笑いの中にも知識の詰まった内容になりそう。コーディネーターとしてナカノシマ大学でおなじみの高島幸次先生が登場し、落語家との対談も聴けるなど、「風変わったプログラムになっている。」(金哲志・本誌)

落語を通して 大阪の今昔を見る！



桂三風

桂梅団治

桂春之輔

第1回 追手門寄席「古典・疑古典・創作落語の大阪弁」

大阪を舞台にした数多くの落語のうち、古典落語「野崎詣り」、創作落語「振り込め!」、疑古典「ままだ」の3席を楽しんだ後、大阪大学教授で言語学者の金水敏先生による「上方落語に欠かせない関西弁の特徴について」の講義、さらには高島幸次先生との対談が行われる盛りだくさんの内容。

日時/4月23日(土) 2:00PM ~ 4:30PM (開場1:30PM)
会場/追手門学院大阪城スクエア
出演者/桂春之輔、桂三風、桂梅団治
定員/200名
料金/1,500円
問い合わせ/追手門学院大阪城スクエア☎06-6942-2788
●詳しくは<http://www.otemon-osakajo.jp>



月刊島民が iPadで見られる！

フリーマガジンとしておなじみの『月刊島民』が、ついにiPad用のアプリとして登場！無料でダウンロードして見られるようになった。毎月1日前後に最新号をリリース。iTunesストアで「月刊島民」と検索し、アプリをダウンロードするだけで、簡単に見る事ができる。iPadで見られる他の雑誌と同じように、ワンタッチで拡大できたり、スクロールもしやすく便利。ツイッター機能もついて、誌面や中之島についての情報発信も簡単にできる。iPadを持っている人なら、



「今月は取り忘れた」という時でもすぐに入手可能。今後ますます多彩な機能を搭載していく予定のため、ぜひダウンロードしてほしい。(月刊島民プレス)

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/フックススタジオ/フックススタジオ 梅田店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店
- 公共施設・大学関連施設など) アイススポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フィルハーモニー会館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル 市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/ろうきんギャラリー心斎橋
- 店舗・医院など) アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/ Ultra 2nd / 江戸前惣料理 志津町/ EXPO CAFE / MJB珈琲店/大西洋服店/ OOO (オー) /カセッタ/喫茶カウンター/喫茶SAWA /グランスイート中之島/黒門さかえ/コモカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/じろう亭/ Girond's JR /心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/ティーハウスジカ/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/ NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャー/パストラーレ/花かつ/ BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマアカフェ/フレインハウス/ミニミロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/ラ・クッカーニャ/ LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂 [公共施設・大学関連施設など] 大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/致風食堂 ミリバー/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御船かもめ/ Calo Bookshop and cafe /写真とプリント社/鳥かぎキッチン/ネイルサロン スワナナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/ MANGUEIRA / Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/ Books 呼文堂/水嶋書房 千住はモールド/水嶋書房 千住は駅店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画部広報/社会学連携事務局/大阪大学21世紀徳徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆつたりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通りストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/ターバン・シン普森/百練/奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひ申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 中之島美術倶楽部

版画、洋画、日本画、中之島をモチーフとする作品は数多い。
芸術にはなじみの薄い大阪のイメージをくつがえす、絵画と画家の特集。

●『月刊島民』vol.34は2011年5月1日発行です!

編集・発行人/江 弘毅 (編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄 (株式会社 地域環境計画研究所)

松本創 大迫力 (編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西賢 (ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

京都に行くなら、おけいはん。



西花見小路(祇園四条駅下車) 橋葉けい子(大学生)

またひとつ、
祇園を知りました。



京阪の
おけいはん、
いる人。

京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※お掛け間違えのないようにお願いします。
[平日]9時~19時 [土休日]9時~17時 ※12月30日~翌年1月3日は休業

おけいはん 検索 www.okeihan.net